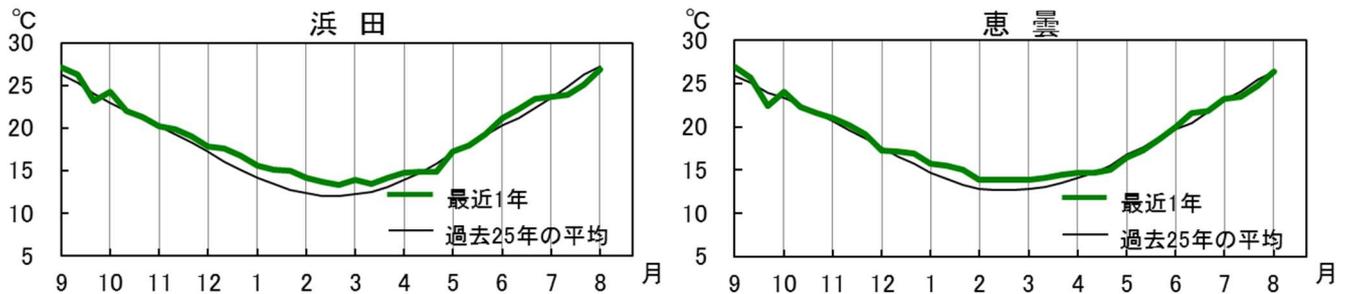




《7月の海況》



7月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	24.7°C	-0.7°C	平年並み	23.8°C	-0.4°C
中旬	やや低め			平年並み		
下旬	やや低め			平年並み		

《7月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは287トンで平年の1.3倍、サバ類は111トンで平年並みでした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は31.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、マイワシは2,382トンで平年の1.2倍、マアジは1,077トンで平年並み、サバ類は393トンで平年並みでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の77%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は130kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は152kgで平年並みでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は29.4トンで平年並み、1隻1航海当たりの漁獲量は1,012kgで平年の1.2倍でした。エッチュウバイの漁獲量は24.7トンで平年の1.1倍、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の8割以上を占め、特に「大」は7.9トンと平年の1.4倍でした。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は1.5トンと平年並みとなりました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは60.3トンで平年の8割となり、ヒラマサは3.8トンで平年の3割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、ホソトビウオ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は22.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.2倍、マアジは7割、ホソトビウオは1.0倍でした。石見地区ではマアジ、サバ類、ヒラマサ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は16.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の6割、サバ類は1.5倍、ヒラマサは1.0倍でした。隠岐地区ではイサキ、ケンサキイカ、ホソトビウオ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は16.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、イサキは平年の1.4倍、ケンサキイカは1.0倍、ホソトビウオは2.3倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割、イサキは1.1倍でした。石見地区ではケンサキイカ、イサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の8割、イサキは6割でした。隠岐地区ではケンサキイカ、スルメイカ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.5倍、スルメイカは1.9倍、カサゴ・メバル類は7割でした。

【令和2年7月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	429トン	110%	118%	13.0トン	106%	86%	○
	隠岐	マイワシ、マアジ、サバ類	4,486トン	234%	99%	31.3トン	229%	93%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	6.4トン	58%	34%	130kg	166%	77%	○
	西郷	スルメイカ	18.6トン	29%	96%	152kg	53%	148%	○
ばいかご	石見	エッチュウバイ	29.4トン	101%	97%	1,012kg	112%	120%	◎
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	65.1トン	49%	76%	1.5トン	62%	96%	○
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、ホソトビウオ	287トン	46%	72%	22.1トン	46%	72%	▲
	石見	マアジ、サバ類、ヒラマサ	67トン	49%	89%	16.7トン	49%	83%	○
	隠岐	イサキ、ケンサキイカ、ホソトビウオ	49トン	93%	72%	16.4トン	93%	72%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、イサキ	24.4トン	56%	58%	21kg	74%	84%	▲
	石見	ケンサキイカ、イサキ	41トン	71%	68%	19kg	91%	95%	○
	隠岐	ケンサキイカ、スルメイカ、カサゴ・メバル類	25トン	85%	111%	18.3kg	88%	111%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1統当り漁獲量です。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ